

新潟職能短大通信

学生指導と総合制作実習テーマ

新潟職業能力開発短期大
 学校では、学生の教育訓練
 を中心に、社会人を対象と
 したセミナーや企業・団体
 等が実施する教育訓練への
 支援、受託・共同研究、各
 種イベントなどを行ってい
 ます。また、市や公共団体
 等の各種委員やボランティア
 ア活動にも積極的に参加し
 ています。

当校では、生産現場で即
 戦力として活躍できる実践
 的な技術の修得、ただでな
 く、社会人として必要とな
 るマナーや協調性などを兼
 ね備えた人材の育成に努め
 ています。

毎年、学生の六十五%が
 新潟県内の企業に就職して
 います。中でも、新潟市や
 新発田市を中心とした下越
 地域に就職する学生は、約
 五十%と高く、企業からは
 就職後の定着率も高いと評
 価されています。

最近、学生は豊かな生活
 環境で育ったためか、友達
 を作れない学生やコミュニ
 ケーションの苦手な学生も
 見かけます。学生が日ごろ
 から抱える悩みを解消する

ため、学内に相談室を設け、
 専門の相談員がきめ細かな
 指導に当たっています。

教育訓練では、講義だけ
 では理解しにくい内容もあ
 り、実験・実習を併行して
 行うことにより、理解が深
 まるように工夫していま
 す。そのため、講義と実
 験・実習の授業時
 間の割合をおよそ
 一…一にしていま
 す。

二年次に取り組
 む「総合制作実習」
 では、企業・団体
 等からの受託テ
 マを積極的に取り
 入れています。

昨年取り組んだテーマの
 一つとして、「全身反応測
 定器」があります。この測
 定器の製作の発端は、新潟
 県ジュニアバトミントン・
 クラブから屋内でも敏捷
 性の強化ができるトレーニ
 ングマシンの要望がありま
 した。素早い動作を要求さ
 れるスポーツ選手は、敏捷
 性を高めるため日頃からト
 レーニングに励んでいま
 す。そこで、人の敏捷性を

計測する「全身反応測定器」
 の製作に取り組みました。
 使い方としては、まずマ
 ットの上に膝を軽く曲げて
 立ちます。測定器のフラッ
 シュ(光)が点灯したら素
 早くジャンプします。

この測定器は、フラッシ
 ュ(光)が点灯してから足
 が跳躍台を離れるまでの時
 間を計測し、敏捷性を数値
 化する装置です。計測時間
 が短時間であれば、敏捷性
 に優れていることが分か
 ります。



測定器の外観

日常行動の敏捷性と体力
 年齢との関係は、中高年齢
 以上になると、高い相関が
 あるといわれています。こ
 の測定器には、臨床スポー
 ツ医学会・日本体育学会測
 定評価専門分科会によるテ
 ータ資料を参考に全身反応
 時間と体力年齢のデータが
 登録されており、敏捷性
 (全身反応時間)が分かる
 だけでなく、体力年齢を知
 ることができます。なお、

この測定器は、光の反応だ
 けでなく、音による反応も
 測定することができます。
 このような測定器を利用
 して敏捷性を高めれば、と
 つさの危険から我が身を回
 避できるのではないかと、
 実証実験をしています。



データ管理の画面

学生にとって、企業等か
 らテーマを依頼されること
 は、真剣な気持ちで取り組
 むことになります。また、
 製品化に結び付く夢もあ
 り、楽しく取り組むことが
 できます。
 皆様方の生活の場や企業
 現場に潜んでいる課題や問
 題点を総合制作実習のテ
 マにご提供いただければ幸
 いです。

新潟職業能力開発
 短期大学校
 能力開発部長 福元 基